

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	トレーナー概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	井上 佳子	実務経験と その関連資格	修士、塩野義製薬 女子ソフトボール部トレーナー(2000年～2002年)15人制 女子ラグビー日本代表トレーナー(2013年～) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、保健体育第1種教員免許、日本赤十字社救急法指導員、日本ライフセービング協会CPRインストラクター			
《授業科目における学習内容》						
本講義では、新カリキュラムに基づき、JSPO-ATの理念や資格制度の全体像から、現代のスポーツ環境に求められる社会的意義と倫理観について学ぶ。特に、スポーツ現場におけるリスクマネジメント体制の構築や、地域スポーツ・部活動など多様な現場において、指導者や他職種といかに連携・協働していくかといった、実践現場で求められるコンピテンシー(行動特性)を養うことをねらいとする。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70%(筆記試験) 出席点 20% 平常点 10%(レポート提出や授業・グループワークへの参加態度を含む)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認アスレティックトレーナー 専門テキスト①「アスレティックトレーナーの役割」(最新版) 適宜、関連する配布資料						
《授業外における学習方法》						
各回のテーマに基づき、現場で起こりうる事例(緊急時対応や倫理的ジレンマなど)を想定した事前学習やレポート作成を行う。また、日頃からスポーツ関連ニュースに触れ、ATの視点から問題点や解決策を考察する習慣をつけること。						
《履修に当たっての留意点》						
本科目は、JSPO-ATとしてのすべての活動の土台となる極めて重要な科目です。単なる知識の暗記に留まらず、実際の現場に出た際に自分ならどう行動するか、常に当事者意識を持って受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	JSPO-ATの理念、歴史、資格制度の全体像を理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	第1章を事前に読み、 ATの定義と目指すべき 姿を確認しておく。	
		各コマに おける 授業予定	ガイダンスとATの理念			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ環境の変化と、現代に求められるATの社会的意義・役割 を理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	現代の日本のスポーツ 環境(少子化、部活動地 域移行など)について調 べておく。	
		各コマに おける 授業予定	スポーツ界における役割			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	医療従事者に準ずる倫理観と、ATとしての行動規範(コンピテン シー)を理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	「プロフェッショナルとは 何か」について、自身の 考えをノートにまとめてく る。	
		各コマに おける 授業予定	倫理とプロフェッショナリズム			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	AT活動に関わる関連法規、資格の境界線、アンチ・ドーピングの基 本を理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	医師法や理学療法士法 など、関連する法律の基 本的な違いを調べる。	
		各コマに おける 授業予定	関連法規と法的責任			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ現場における安全管理システムと、ATが行うべき危機管理業務を 理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	スポーツ現場における 事故事例をニュース等 で1つ調べ、原因を考察 してくる。	
		各コマに おける 授業予定	安全管理体制の構築			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツドクターや理学療法士など、医療従事者との適切な連携体制を理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	チーム医療において、各専門職がどのような役割を担うか図示してみる。
		各コマにおける授業予定	他職種連携(チーム医療)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	監督だけでなく、部活動指導員や外部コーチと円滑に情報共有し、協働する手法を学ぶ。	・テキスト ・配布資料	指導者(コーチ)とATとで、選手を見る視点がどう違うか考えてくる。
		各コマにおける授業予定	指導者との連携と協働		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	選手、保護者、スタッフに対する適切な情報伝達とコミュニケーションスキルを学ぶ。	・テキスト ・配布資料	相手に物事がうまく伝わらなかった日常の失敗例を振り返り、理由を考える。
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキル		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	メディカルレコードの適切な作成方法と、個人情報保護・守秘義務について理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	SOAP形式の記録方法について、テキストを予習しておく。
		各コマにおける授業予定	情報の記録と管理		
第10回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	緊急時対応計画(EAP)の策定と、心臓系事故などの重大な事態へのマネジメントを理解する。	・テキスト ・レポート	身近なスポーツ施設や学校のEAP(または避難経路・AEDの場所)を確認してくる。
		各コマにおける授業予定	現場のマネジメント業務		
第11回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	競技施設やトレーナールームの環境整備、衛生管理、感染症対策の基礎を理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	一般的な感染症対策ガイドライン(スポーツ庁など)に目を通しておく。
		各コマにおける授業予定	環境整備と衛生管理		
第12回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ安全の観点から、地域マネジメントやコミュニティに貢献できるATの役割を考える。	・テキスト ・配布資料	地域の総合型地域スポーツクラブ等の取り組みについて調べてくる。
		各コマにおける授業予定	地域社会への展開		
第13回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	海外のAT資格制度との比較や、資格取得後の多様なキャリアパスについて理解できるようになる。	・テキスト ・配布資料	NATA(米国)など、海外におけるトレーナー制度について概要を調べる。
		各コマにおける授業予定	国際的動向とキャリア		
第14回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	現場で起こりうる倫理的課題や緊急事態の事例に対し、グループで議論し解決策を導けるようになる。	・過去の資料 ・配布資料	これまでの全授業内容を振り返り、事例検討に向けて自身の意見を持っておく。
		各コマにおける授業予定	総合演習(事例検討・GW)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	全14回の総括を通じ、JSPO-ATの4つの役割の本質を総合的に理解できるようになる。	テキスト	第1回から第14回までのテキスト内容および自身のノートを復習する。
		各コマにおける授業予定	まとめ・総括		